

昆虫ウォッチング

「虫との知恵比べ」 打合わせ表

1. 実施日時 月 日 時 分 ~ 時 分
2. 集合場所 _____ (緊急時の為の)
3. 団体担当者 _____ 携帯電話番号 _____)
4. 交流の家担当者(1)打合せ者 _____ (2)指導者 _____
5. 参加者 男 _____ 名・女 _____ 名 計 _____ 名
6. 不参加者 男 _____ 名・女 _____ 名 計 _____ 名
 - (1)研修内容 _____
 - (2)研修場所 _____
 - (3)責任者氏名 _____
7. コース 1~2時間 (昆虫ウォッチングまっぴら参照)
 - (1)季節を問わずにお手軽コース 《ヘルシートレイリングコース周辺》
 - (2)雑木林探索コース 《野ウサギゲレンデ周辺雑木林》
 - (3)草原・水辺探索コース 《北の原草原~姫逃池~雑木林》
8. 役割分担
 - (1)先頭 _____ (2)最後尾 _____ (3)救護係 _____
9. 班編成
 - (1) _____ 人班 _____ 班 (2) _____ 人班 _____ 班 計 _____ 班
10. 貸出し用具

用具貸出し時間	前日時分	時	分	当日	時	分
---------	------	---	---	----	---	---

用具名	前日	当日	用具名	前日	当日
観察マップ	枚	枚	無線機	台	台
ガイドブック (グリーンアドベンチャー用)				冊	冊
冬の自然観察ガイドブック				冊	冊
携帯用救急靴	個	個	その他		

団体名

- ※ 大自然の中に入れてもらうという気持ちを忘れずに!
- ※ 青少年交流の家周辺は国立公園内です。採集は禁じられています。
- ※ 夜間の観察をする時には、懐中電灯等を準備して下さい。

1. 留意事項

- (1) コースの事前踏査 (実施した・実施していない)
 - ※ マムシ・ツタウルシ・ハチ等に注意してください。
- (2) 必ず、実施前に健康状態を把握しておいてください。
(調査票が必要な場合は、交流の家でも準備していますので申し出てください)
- (3) 研修にふさわしい服装及び携行品は、次のとおりです。

長袖・長ズボン・帽子 (淡色系)・運動靴 (厚底靴が望ましい)・軍手・雨具・タオル・リュックサック・水筒など。【服装は、季節に応じて!!】

(4) 救急・安全指導について

- ・実施前、研修中の安全指導を徹底してください。(裏面参照)

・事故発生の場合

- ① 現場での応急手当をする。
- ② 援助が必要な場合、交流の家に連絡する。(無線機又は携帯電話で)
※ただし、救急を要する場合は、直接に119番通報してください。

- (5) 弁当の受け取り・水筒の湯茶については、打合せ後、必ず食堂職と確認をしておいてください。

※ 弁当殻は必ず持ち帰り、処理については食堂職員の指示に従ってください。

- (6) 落ちているゴミなどを拾って、三瓶山の美化・保全にご協力ください。
- (7) 実習終了後について

- 靴の土を良く落として、野外活動出入り口から所内に入ってください。
- 貸出用具は研修終了後、事務室にまとめて返納してください。
- 研修終了後、事後報告をお願いします。(コースの状態、ケガ・体調など)

【裏面を必ず読んでください】

野外活動における安全指導

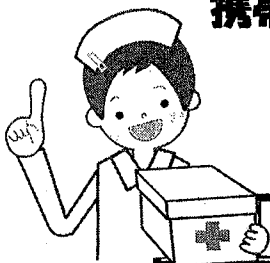
1. 捻挫やすり傷が多いので、十分注意する。特に、下り坂では、滑りやすいので気をつける。
2. 服装は、すり傷や草かぶれなどに備え、長袖・長ズボンが望ましい。
3. 夏期は、蚊やブトなどに刺される可能性が高くなります。
虫除けスプレー等で対策を講じてください。

※途中、天候が急変した場合、状況判断して活動を中止することも考慮しておく。

【救急車要請：119番】

【三瓶青少年交流の家：0854-86-0319】

携帯用救急カバン（ウエストバック型） 内容品



	大	小
内 装	<ul style="list-style-type: none"> ・保温シート ・三角巾 ・テーピング (大・小) ・刺虫毒吸い出器 (ポイズンリムーバー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・綿 球 ・ガーゼ ・テープ ・包 帯 ・ポケットティッシュ ・カットパン ・使い捨て手袋・ゴミ袋
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・エアーサロンパス ・オロナイン消毒液 ・虫さされ用△ヒ軟膏 	